

## 『女性の視点から避難所を考えませんか?』第9回 レジюме

- ◆開催日 平成27年9月15日(火) 10:00~12:15
- ◆場所 四谷ひろば B館1階 大人のサロン/備蓄倉庫にて
- ◆参加者 新宿区危機管理課 1名、四谷特別出張所担当、四谷四丁目町会副会  
地域住民 14名 計17名

### 10:00 開会・意見交換

前回の会議録を見ると、倉庫の貼り紙を両面刷りのものに張り替えておくことになっていましたが、間に合っていません。ただ、写真は手に入れて、プリントしてありますので、今回、2つのグループにそれぞれ配布し、写真の画像を見ながら、質疑応答・意見交換をしていきたいと思っております。危機管理課と四谷特別出張所担当の方が参加して下さっています。そして、3回目となりますが、四谷四丁目の副会長にもご参加いただき、視点を変えて意見交換ができることに期待しています。

#### ○倉庫の配置 見直し ※資料 備蓄一覧

最初に、お手元に、備蓄一覧の資料を配布していますので、それを見ながら、前回整理した備蓄倉庫を再度見ていただき、のちほど意見交換をしていきたいと思っております。

※危機管理課より指摘があり、今回配布資料は26年版のため、27年度版に多少訂正して、会議録と一緒に、早々に差替えでお渡しします。次回までに、再度目を通しておいてください。

#### ○四谷四丁目副会長より ※資料 四谷四丁目の取り組み紹介「首都直下型地震」

本日、3回目の参加となりました。1回目は倉庫の整理ということで、力仕事をするために参加し、その後、皆さん方の熱心な話し合いに非常に興味を持ち、また、感銘して参加しています。最初に、町会に加盟したときに、理事はどういうようにいざとなった時には行動をとるのかということで質問をしたことがあります。実際に具体的なものは特に決まっていないう話があり、その秋に意見交換の場を設けて、新宿区や消防署から資料を取り寄せ、この冊子とともに、四谷4丁目町会の世帯に配布いたしました。災害は想定外であったと常日頃より言われるが、実際にあちこちで想定外の水害等が発生している。日本は、もともと四季折々、山と海に囲まれて、素晴らしい自然に恵まれているが、そのことが反面、日常が一変してしまうことにつながることをそれぞれが自覚しておかないといけないのではないかと感じている。ここに参加されている方は、何か「ことが起きた時」には、きっとお世話係になるのではないかと思います。まずは、ここに集まれる人が何人いるのか。ご自分の家のことや身体のことなど、まずは大事にしていくことが肝心で、災害を防ぐことはできないが、想定をしていくことは大事だと感じている。自分が助かり、その先に、他人を助ける余力があるか、四谷ひろばへ向かう通路のこと、いろいろなことが想定されますが、いつもいつも考えているということではなく、年に何回かは思い起こすことも大事だということです。避難訓練をしていても、旗をもって誘導してくれる人が本当にいるのか、雨が降ったときには、どうなるのか。一番困ったときにはどうしたらいいのかということ普段から考えている。とにかく、自分が無事で、はじめて他人を思いやることにつながると思っています。発生時の混乱の中で、どれだけ心構えができていくか、備えがあるかは必要なことなのか、などを記載したものです。ご参考になればと思います。

#### ○備蓄品の再確認 ※資料 備蓄の箱の中の写真

◇テーブルごとに、写真を見て、質問や意見交換などを行って、最後に発表してください。

##### ① 備蓄倉庫の園庭側入り口

段差があるため、危ない。⇒ 蓄光テープなど、夜でも目立つもので印をつけたい。

##### ② ガソリンと灯油缶の見分けがつきにくい

箱から出してしまうと、見分けがつきにくく危険。箱から出して、一つ一つに明記をしたい。バーナー用、発電機用というように記載したらどうだろうか。

⇒ 箱から出していいかを、六本木さんに確認してもらおう。

ただし、取替えのときに、タイムラグが生じ、記載がされていない時期に災害があった場合に、記載してあるつもりとして隙間が生じることのほうが油断している分危ない。まずは、許可ができれば記載をする。あわせて、場所をしっかりと分ける。そして、危険なものであることを表示して、箱にいざとなったときに、すぐに貼れるように宛名シールに印刷して開封した人が必ずシールを貼るという意識を高めておくことも必要。 ※打合せ後、連絡あり。問題なし。

##### ③ 大人用のおむつ Lサイズが少ない。

32枚では少なすぎる。男女兼用のLサイズを増やしてほしい。

⇒ その他代用できるものと考えてみたが、生理用のナプキンも最近では、吸水率の高いものが安価に販売されているので、それを代用していくこともできている。オムツタイプより、

ナプキンタイプの大き目のものが取り替えやすいということも試してみた。かさばらないし、安価である。2回分吸収よりも履き替えやすさからお薦めである。

#### ④ 備蓄倉庫の防寒マットについて

アルミマットが1畳分だということがわかった。大きさを教えることによって、余分に持ち去らないということもあるかと思う。⇒ 万が一の災害時には、サンプルを置くといいのではないかな。

#### ⑤ 備蓄倉庫天井のロープに下げた表示が小さい

もっと大きくて、遠くから見てもわかるようなものにしたらどうだろうか。このメンバーが必ずしも、来られるとは限らないので、携わっていない人もわかるようにしたほうがよい。また、昼か夜かによっても、貼り方に工夫をした方がよいと思う。⇒ 今回は、A4 サイズ横で印刷しているので、説明とあわせて、2枚でA3にしてパウチしたものを設置してみる。

・ 11月29日(日) 四谷ひろば避難所訓練に向けて ※10月11月の2回の合同打合せを予定している。

① 段差に蓄光テープを貼りたい。

② 避難所訓練参加者に、缶バッジを作り、「自宅が無事で、避難所に手伝いに来ることができた時」や「滞在しなければならなくなった場合」に、「避難所参加経験者」として、バッジをつけてもらうという案あり。受付で配布し、裏に名前を書き込んでもらい、備蓄庫に管理しておく。

例)「このひろばのことを普段から知っている人」としてのマークとなり、さらには、災害時、「なにかの資格を持っている」とか、「どんなお手伝いが可能である」かなどの目印を缶バッジに「金色シールならAED操作ができる」とか、そんなコミュニティを普段から築くこともできるのではないかな。参加するだけでなく、避難訓練に参加するだけでなく、理解していくことの意義を作っていくことも大事だと考える。

## 12:05 閉会

今回、写真を見ることによって、もっと実感ができたことでもあります。その実感の中から、具体的に、とても危険な灯油とガソリンの缶の気づきがありました。同じテーマで話をするこって大事なんだと思いましたし、また、四谷四丁目副会長の自らの体験から疑問をし、行動した話から、みんな励まされたことと思います。四谷ひろばは、ほかの避難所と違って、学校ではないので、自分たちで取り組まねばならないこともあるが自由性もある。広さが確保されていることでも、このような配置換えや見やすさの取組みができることを自覚して、他団体とは違う事を自覚しておく必要があるのでは自慢することは控えたい。避難所としては、このひろばが四谷では最後の避難所として残っていくことも考えられる。

この場にてくださる危機管理課の方や出張所の方が、疑問に答えてくれたり、要望を繋げてくださる役割をしてくださることに感謝いたします。ありがとうございます。

話し合ったことを、四谷ひろば避難所運営管理協議会にご提案させていただきます。イベントが続き、役割の多い皆様には多用な中ご出席いただき、白熱した議論となりましたことに感謝して、閉会いたします。

### ※新宿区危機管理課より

本日、話し合われたことでの質問については、のちほど、確認して早々にご返答いたします。

### ※四谷特別出張所担当より

11月29日(日)に四谷ひろば避難所訓練が予定されている。その前に、2回の合同打合せがあるが、その初めに、地域の町会長に合意を受けた「卓球台の板」を町会ごとに再利用する話が出る予定。この2回は、別に作業日が設けられると思うので、その時には、皆さま方にもお声かけがされるかと思っております。

### ※四谷ひろば 主催事業部部長より

- ① 今回の鬼怒川のこともあり、何を想定して考えておくかが大事だと感じている。水害・地震・火事。鬼怒川には、地震想定のマニュアルがあったが、水害のものはなかった。肝心の校舎が水没した。
- ② デマが出回ることがあった。配給のことや、放射能がとんでくる。など。
- ③ 強い人に、避難所が振り回されないように、普段から連携をとって、協力できる体制を築いておく。

### ※消防団所属メンバーよりお知らせ

- ① 東京都は、『各家庭において、首都直下地震等の様々な災害に対する備えが万全となるよう、防災ブック「東京防災」を作成し、一家に一冊配布』し始めています。
- ② 東京防災セミナー 10/14まで 日祝：11:00-12:00 月火水：19:00-20:00 四谷消防署2階、新宿御苑前の消防署3階にて、防災教室を開催。事前の備えや、地震発生時の対処方法についての講習

**【次回、レディス会 11月10日(火)10:00～ 大人のサロンに集合】**